

# 東京音楽大学校友会埼玉支部

## 第34回 新人演奏会



メゾソプラノ  
むらさき あおい  
村崎 葵  
pf 村上 彩子



ピアノ  
はしもと けんた  
橋本 堅登



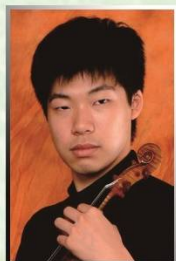
ピアノ  
はしもと ちなみ  
橋本 智菜美



ピアノ  
はら ゆうき  
原 由布紀



ピアノ  
みつづか しおり  
三塚 汐莉



ヴァイオリン  
いわさき しょうだい  
岩崎 聖大  
pf 山崎 早登美



ヴァイオリン  
ふせ のぶみ  
布施 薦実  
pf 二見 真里恵



チェロ  
ひらやま ただし  
平山 直  
pf 百武 恵子



トランペット  
みかみ  
三上 まどか  
pf 小林 遼



トロンボーン  
やすだ かんた  
安田 勤太  
pf 塩木 ももこ

### ゲスト出演

チェロ/東京音楽大学教授  
**ドミトリー・フェイギン**  
ピアノ/東京音楽大学付属高等学校講師  
**新見・フェイギン・浩子**

レーガー/チェロ組曲第1番  
ストラヴィンスキー/イタリアン組曲  
ラヴェル/道化師の朝の歌 チェロとピアノ編曲



# 2019年 7月7日(日)

## 12:30開場/13:00開演

全自由席・チケット前売り1,000円/当日1,500円

### 埼玉会館 小ホール

(JR浦和駅西口徒歩6分)

主催/東京音楽大学校友会埼玉支部

後援/東京音楽大学校友会・東京音楽大学後援会・さいたま市教育委員会

お問合せ/東京音楽大学校友会埼玉支部事務局 TEL 048-781-4935 (小口)

お問合せ及びチケット予約/埼玉支部公式ホームページ <http://koyukai-saitamashibu.music.coocan.jp/>

## ■ゲスト出演者プロフィール

ドミトリー・フェイギン

**Dmitry Feygin / チェロ・東京音楽大学教授**

ロシア人チェリスト、ドミトリー・フェイギンは、有名なチェリストであった父ヴァレンティン・フェイギンと、有名なチェロ教師であった母ガリーナ・ズーヴァレヴァのもとに、モスクワに生まれる。その後、モスクワ音楽院中央付属音楽学校にて英才教育を受け、後にモスクワ音楽院へ入学、同大学院を卒業。その間、父にチェロを、室内楽をショスタコヴィッチ室内楽団のチェロ奏者アレクサンドル・カルチャーギンなどに師事する。

モスクワ音楽院在学中、1991年にモスクワ院大ホールにて指揮者アレクサンドル・ヴェデルニコフ(現ボリショイ劇場常任)指揮により、チャイコフスキー作曲『ロココのテーマによる変奏曲』でデビューする。今までにショスタコヴィッチ室内楽コンクール、日本のチェロコンクールなど数々の賞を受賞。ショスタコヴィッチ室内楽コンクールではショスタコヴィッチ夫人から特別にソナタ賞を授与される。

1986年からロシア国内外で演奏活動をはじめ、NEW-VIKTRINGフェスティバルやCARINTHISHERフェスティバル(独)、カルマール・フェスティバル(仏、主催はロシア人ヴァイオリニスト、スピヴァコフ)、オレグ・カガン・フェスティバル(露、ナタリア・グッドマン主催)、モスクワ11月芸術祭などに出演する。'95からはモスクワ・コンサート・フィルハーモニー協会のソリストを務め、モスクワ音楽院付属音楽学校で教える。'99年にはロシア人指揮者、イリヤ・ムシンなどと共演する。'06からはモスクワフィルハーモニア協会主催による定期演奏会に、毎年、チェロとピアノ、デュオ室内楽のシリーズに新見・フェイギン・浩子(ピアノ)と連続出演している。

最近では小林研一郎、広上淳一など世界的に有名な日本人指揮者などと日本のオーケストラとも共演する。さらに韓国やベトナムなどの有名なオーケストラとも共演する。現在、日本を始めロシア、韓国のコンクール審査員や、さらに中国やアジアを中心に公開レッスンなども行う。ロシア、日本やアジアを中心にソロや室内楽で活躍している。

にいみ

ひろこ

**新見・フェイギン・浩子 / ピアノ・東京音楽大学付属高等学校講師**

大阪に生まれる。桐朋学園高等音楽学校に入学する。その後、ハンガリー・ブタペスト、リスト音楽院にてピアノを、ナードル・ジョルジュやゾルダン・コチシュなどに師事する。その後、1990年からモスクワ音楽院に研究生として入学。ピアノを、ドミトリー・パシキーロフ、セルゲイ・ドレンスキー、室内楽を、前モスクワ音楽院長であったディグラム・アリハーノフ、ヴァレンティン・フェイギンなどに師事する。その間、旧レニングラードで開催されたショスタコヴィッチ室内楽コンクール(デュオで夫であるチェリストのドミトリー・フェイギンと)やソロではイタリアのヴィオッティ国際ピアノコンクールなどで賞を受賞する。

1990年から、主にロシア国内で演奏活動を始め、サンクト・ペテルブルクオーケストラ、ロストフオーケストラ他、サラトフ、マイコップなどのオーケストラと共演する。モスクワではチェリストのナタリア・グッドマン主催のオレグ・カガン・フェスティバルや、モスクワ11月音楽祭、プーシキン美術館などのフェスティバルにて、1990年からドミトリー・フェイギンと共演する。他に、ピアノトリオ、ピアノ五重奏など、モスクワ・ソロイツ室内楽オーケストラのメンバーと共演する。2005年からモスクワ・コンツェルト・フィルハーモニー・ソサエティーにて演奏活動をする。

現在は、2006年からモスクワ国立フィルハーモニア協会主催の定期演奏会に連続出演する。2010年の3月に催された同シリーズ演奏会は、モスクワ国立フィルハーモニア協会の批評家たちから大変な好評を博した。2006年から2011年までくらしき作陽大学音楽部で後進にもあたる。2015年4月から東京音楽大学付属高等学校講師を務める。

現在、日本とロシアでおもに夫フェイギンと演奏活動を行う。2016年フェイギンとシューベルトのアルペジオーネソナタ他CDをリリースする。

